

主催

中馬企画
明治大学

死生学研究所(金山秋男教授)

美しく生きている

つながってるよ 希望が見えるまで

尾角 光美

Live on(リヴオン)代表



ここに二七歳の女性がいる。尾角 光美(おかく・てるみ)

彼女は昨年、民間団体 Live on (リヴオン=生き続ける) を立ち上げた。長い間にわたる母親との葛藤、そして母親の自殺。自らの生い立ちと活動の中で今まで出会ってきた遺児たちの物語から「絶望の先にある希望」をひとりひとりに届けていく。その活動と人となりは、ちいさなひまわりに似て遅くそして明るい。尾角さんを温かく応援されている「人と経営研究所」の大久保寛司さんと尾角光美さんの講演会を下記のように開かせていただきます。

ぜひともご参加をいただきたく、ご案内を申しあげます。



大久保 寛司 人と経営研究所 所長

1949年生まれ。日本アイ・ビー・エム入社。本社業務改革推進本部やCS部長就任し、IBMを顧客志向体質に変える。現在は人と経営研究所所長。日本経営品質賞の審査員を務めた。いままでに、ローソンや三重県庁をはじめ全国で経営品質の経営指導を行う一方、日本のメガバンクやグローバルなITトップ企業から、全役員・管理者研修のリピート要請が絶たない。著者に『月曜日の朝からやる気になる働き方』『経営の質を高める8つの基準』『自分が変われば組織も変わる』(いずれもかんき出版)

19歳で母を自殺により亡くす。2004年あしなが育英会で病気、自殺、テロ、津波等による遺児たちのグリーフケアに携わる。2006年より自殺予防や自死遺族のケアに関する講演活動開始。以来自治体、学校、寺院などで講演や教育を続ける。2008年京都JC主催の京都学生人間力大賞で「京都市長賞」受賞。亡くなった母に手紙を書く「母の日プロジェクト」を毎年実施、2009年Live onを立ち上げ『102年目の母の日』(長崎出版)編著。同年、自殺で親を亡くした子どものサポート事業をスタート。2010年、社会起業家向けビジネスコンペ edge で優秀賞受賞。石川県勝光寺(浄土真宗大谷派)でお寺におけるグリーフサポート連続講座実施。大切な人をなくしたとき、いつも、どこでも、どのような形でなくても、その人が必要とするサポートに確実つながる社会の創造をめざしている。

■日時： 平成23年9月27日(火) 18:30~20:30

■会場： 明治大学 駿河台キャンパス リバティタワー1123号室

住所:東京都千代田区神田駿河台1-1 TEL 03-3296-4545

交通:JR中央線 お茶の水駅徒歩3分 東京メトロ丸の内線お茶ノ水駅 徒歩3分

■会費： 6,000円 (会費の一部は、被災地の遺児支援活動費に充てさせていただきます)

メールでのお申し込み

FAXでのお申し込み

sachiko@chumakikaku.com 03-5313-7052

フリガナ お名前	E mail	
ご住所 〒	TEL/FAX	
お勤め先	部署名 役職名	

中馬企画

ことづくりプランナー 中馬 幸子 sachiko@chumakikaku.com
http://www.chumakikaku.com/